



資料提供

平成27年3月5日

所属：県立広島大学

本部経営企画室 教育改革担当

担当者：川口

連絡先：082-251-9727（直通）

学生の主体的な学びを引き出す教育をめざして
県立広島大学「教育改革フォーラム」を開催

1 趣 旨

本学は、平成26年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム(テーマI:アクティブ・ラーニング)」に全国の公立大学で唯一選定されました。

その取組の一環として、学部・学科の取組、組織的な取組を織り交ぜた事例報告を行い、アクティブ・ラーニング型授業を履修した学生やその担当教員及び参加者を交えて意見交換し、これからの改革の方向性を考えます。

報道関係の皆様におかれましては、ぜひ当日のご取材をお願いいたします。

県立広島大学型アクティブ・ラーニングとは

地域活動を組み込み、主として教室外で行う行動型学修と、学修者の知的能動性を揺り動かし深い学びを喚起する参加型学修を組み合わせた能動的学修を学士課程教育に計画的に導入して教育改革を進める全学的な取組です。これにより、幅広い教養と高度な専門性を備えた人材を育成し、生涯にわたり学び続ける自律的な学修者アクティブ・ラーナーの育成を目指します。

2 日 時

平成27年3月7日(土) 13:00~17:00(予定)

3 場 所

県立広島大学広島キャンパス 大講義室(広島市南区宇品東一丁目1-71)

4 対 象

本学教職員・学生、大学関係者、保護者、高等教育に関心のある方

5 内 容

(1) テーマ

学生の主体的な学びを引き出す教育をめざして -アクティブ・ラーニング実践事例-

(2) プログラム

13:00	開会挨拶
13:10	本学の取組内容説明
13:30	学生・教員による取組報告1 ①健康科学総合演習での学び -患者さんとの調理実習と事前事後学修- ②「理学療法学模擬患者演習I」における屋根瓦教育の導入とその成果 ③「大学生観光まちづくりコンテスト」への挑戦 ④環境科学科の「卒業論文」への取組改革 ⑤生命環境学部「外国語」英語教員の取組 ⑥moodle*を用いたチーム基盤型学習システムの構築～「医療画像学」での実践～ ※eラーニング学習管理システムの名称
14:30	休憩
14:45	学生・教員による取組報告2 地域産業界と連携した実践的教育プログラム「広島プレミアム科目」の挑戦 -論理的思考力や討議力の強化をめざした「ディベート演習」-
15:35	休憩
15:45	総合討論 テーマ：学修者中心の教育、その成果と課題-学生の視点で考える-
16:45	総括
16:55	閉会



文部科学省
大学教育再生加速プログラム
(平成26年度選定事業)

大学教育再生加速プログラム

平成26年度 県立広島大学教育改革フォーラム

学生の主体的な学びを 引き出す教育をめざして

—アクティブ・ラーニング実践事例—

平成27年

3/7 ◆ 土 13:00~17:00

参加
無料

県立広島大学 広島キャンパス 大講義室

広島市南区宇品東一丁目1番71号

◆プログラム

- 13:00** 開会挨拶
- 13:10** 本学の取組内容説明
- 13:30** 学生・教員による取組報告1
- ①健康科学総合演習での学び
—患者さんとの調理実習と事前事後学修—
 - ②「理学療法学模擬患者演習I」における
屋根瓦教育の導入とその成果
 - ③「大学生観光まちづくりコンテスト」への挑戦
 - ④環境科学科の「卒業論文」への取組改革
 - ⑤生命環境学部「外国語」英語教員の取組
 - ⑥moodleを用いたチーム基盤型学習システムの構築
—「医療画像学」での実践—
- 14:30** 休憩
- 14:45** 学生・教員による取組報告2 —公開ディベート—
地域産業界と連携した
実践的教育プログラム「広島プレミア科目」の挑戦
—論理的思考力や討議力の
強化をめざした「ディベート演習」—
- 15:35** 休憩
- 15:45** 総合討論
[テーマ] 学修者中心の教育、その成果と課題
—学生の視点で考える—
- 16:45** 総括
- 16:55** 閉会

◆対象

本学教職員・学生、大学関係者、高等教育に関心のある方

◆お申し込み・お問い合わせ

県立広島大学 AP事業推進部会（経営企画室内）
〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号
TEL.082-251-9727

- お申し込み方法
3月5日(木)までに、E-mailまたは裏面の申込み用紙に
必要事項を記載の上、下記FAXまでお申し込みください。
E-mailの場合は、①氏名、②所属、③住所、④連絡先電話番号
をお書きください。

E-mail. kaikaku@pu-hiroshima.ac.jp

FAX.082-251-9405

※なお、申し込み多数の場合は、お断りすることがあります。

大学等名：県立広島大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）

取組概要 地域活動を組み込み、主として教室外で行う「行動型学修」と、学修者の知的能動性を揺り動かし深い学びを喚起する「参加型学修」を組み合わせた「能動的学修」を学士課程教育に計画的に導入して教育改革を進める全学的な取組である。これにより、幅広い教養と高度な専門性を備えた人材を育成し、生涯にわたり学び続ける自律的な学修者アクティブ・ラーナーの育成を目指す。

県立広島大学型 アクティブ・ラーニング

Campus Linkage Active Learning 【CLAL】

行動型学修

教室外

教室外での学びを取り入れる

- ・学生間交流
- ・地域との交流
- ・異文化交流

→ 各キャンパスに拠点
を置いた
地域活動



学生の主体性を育む能動的学修

フィールドワーク
現場体験
インターンシップ
学修成果発表会

参加型学修

教室内

知的能動性を揺り動かす

- ・協働学修
- ・反転授業
- ・プロジェクト学修
- ・双方向授業

→ 学修意欲・自主性を
引き出す学びの
スタイル



振り返り
プレゼンテーション
ディスカッション・ディベート
授業公開促進

学修支援

◇ 学修環境の整備
行動型学修実践支援

◇ 支え合いをリードする学生の育成
学修アドバイザー育成

◇ 教職員研修の充実
ファカルティ・ディベロッパー養成



教育改革の
STEP

教学マネジメント

体系的な学士課程
教育プログラム

教育方法の見直しと充実
授業方法の転換・改善

自己評価システム

生涯学び続ける自律的な学修者
【アクティブ・ラーナー】

	25年度	29年度
数値目標		
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合*	100%	100%
ファカルティ・ディベロッパー養成	0人	30人
学修アドバイザー育成	0人	55人

学長のリーダーシップの下、教育改革に取り組む。本学での学びに対する学生の満足度を高め、卒業生の活躍により地域への波及効果を狙う。

- ・教室外での学びを取り入れ、学修意欲・自主性を引き出す新たな教授法による授業外学修の充実を加速する。
- ・知識を活かせる人材の育成を目指して、真の問題発見力や課題解決力、論理的思考力を育む。
- ・FD・SD活動の充実により、教職員の意欲を向上させる。目標を共有し、教育の質的改善に全学的・組織的に継続して取り組む。
- ・学生同士が教え合うことで、学びを定着させる。

* 29年度の数値目標はアクティブ・ラーニングを再定義した上での値である